

## 2021年度第34回ヴェリタス祭および 聖学院大学同窓会通常総会のご案内

新型コロナウイルス感染症で影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。  
我々同窓会は同窓生と在学生・母校の更なる飛躍のため  
学校・政府等の発表するガイドラインを遵守し活動を続けて参ります。  
どうぞよろしくお願い致します。

2021年度第34回ヴェリタス祭は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部演目を除きオンライン配信での開催となる予定です。詳細につきましてはこちらをご覧ください。

<http://www.seigakuin.jp/news/info/2021veri0714/>

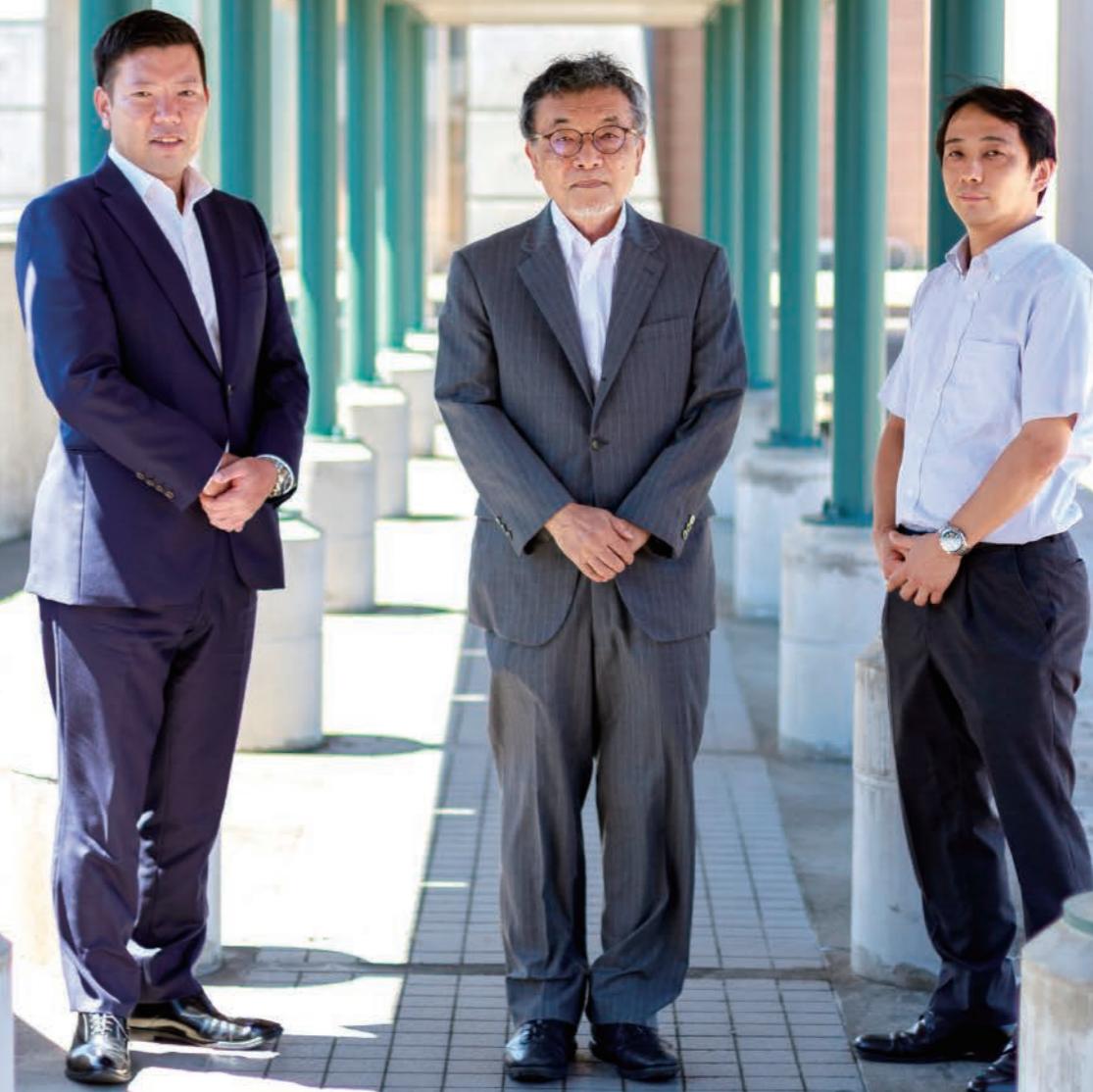


なお、ヴェリタス祭オンライン開催に伴い2021年度聖学院大学同窓会 通常総会につきましても新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から紙面開催と致します。事業報告・事業計画、決算報告等につきましては11月末日まで聖学院大学同窓会HPにてパスワード付きでファイル閲覧可能に致しますのでそちらをご確認ください。

\*パスワードは本誌中面(最終ページ)に記載されています。

ご住所を変更される場合には同窓会ホームページにて変更手続きをお願いいたします。

# CROSS POINT



清水学長 & 秋谷会長・島田副会長 対談

ボーダレス社会で起きたことを、ボーダレスに解決していく。  
そのために必要となるのは「人格の力」です。



# ボーダレス社会で起きたことを ボーダレスに解決していく そのために必要となるのは 「人格の力」です

いまだ出口の見えない新型コロナウイルス感染症\*の蔓延。

厳しい感染防止対策を講じつつも、2021年度第34回ヴェリタス祭は、  
昨年同様オンライン開催となるなど、キャンパスの様相は一変しています。  
コロナの蔓延は、大学や私たちの暮らしに何をもたらしているのか、  
清水学長に伺いつつ、この一年を振り返ってみました。

\* インタビュー中は「コロナ」と略した表現を用いています。  
この対談は2021年8月19日に行われました。



## § 1 異例の入学式

秋谷 昨年同時期、先生にインタビューをさせていただき、早1年を経過しました。正直コロナの収束にこんなに時間がかかると思っていませんでした。同窓会としての活動も停滞し、今期は主だった報告ができずありますこと、冒頭でお詫び申し上げます。

島田 ヴェリタス祭はオンライン開催となってしまい、同窓会恒例の「豚汁」のご提供もできませんでした。学生に対して、金銭面での補助以外に何ができるか、何度も検討したのですが、グラデュエーションパーティーも中止になってしまふなど、具体的な活動には至らずに終わりました。大変残念に思います。

学長 確かに隔靴搔痒の感がありますね。一番の痛手を被ったのは、2020年春入学の現2年生です。入学した途端に大学生活が成り立たなかった。勉強だけではありません。学生生活を送れなかった。当然友達も作れなかったと思います。彼らをどうケアするか。2021年春に迎え入れる新1年生を前に、Welcome Dayと称する1年遅れの実質的な入学式を実施したのもそういった配慮からです。

秋谷 開催されたのは2021年度の入学式の前々日ですね。どういうやり方にされたのですか。

学長 チャペルにおける対面とライブ配信のハイブリッドとし、全体プログラムを礼拝形式で行いました。午前の部と午後の部と、2回に分けて実施しました。辛い思いをした1年生には、「苦難の時期においては、とりわけ存在していること、起きたことには全て意味あることとして臨む姿勢こそが、最も肝要なのではないか」と、いたわりの言葉をかけました。彼らにはゼミ単位でも丁寧にケアしていかたいと思います。

島田 前後しますが卒業式はどうされたのですか。

学長 時間を短縮しての開催となりましたが、対面とライブ配信のハイブリッドで挙行しました。

## § 2 対面＆オンライン授業で始まった春学期

学長 4月1日には2021年度聖学院大学・大学院入学式を対面とライブ配信で行いました。彼らには変化の到来への期待を込めて、『その日、その時は、だれも知らない。(中略)気を付けて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からぬからである。』という聖句を贈りました。

秋谷 前からお尋ねしようと思っていたのですが、こうしたイベント

の式辞は、どのような形で用意されるのですか。



学長 当然、前もって準備しています。ひと月、あるいは二月前に聖書を読み直し、かつて線を引いたところを中心に文案を練ります。でも文章を書き上げるのは前日ぐらいです。迷いに迷って(笑)。今の状況を考えて何を話すべきか熟考します。

島田 全学礼拝はどうされているのですか。

学長 今年から大学チャペルでの対面礼拝と、オンラインでの文書配信による礼拝のハイブリッド方式で実施しています。オンデマンド配信なので、時間に縛られないという利点もあります。

秋谷 春学期は対面授業も行っているとおっしゃっていますね。

学長 オンライン授業と組み合わせて実施しています。感染状況に応じて、対面とオンライン授業の比率を適宜切り替えています。これをハイフレックス型と呼んでいますが、今年はこうした運用がスムーズにできるようになりました。またオンライン授業には3つの方式があります。まず同時双方方式。オンライン上で質疑応答ができる方法で、私はこれが一番良いと思っています。現状3割ぐらいがこの方式です。次にオンラインデマンド型。録画したものをいつでも視聴できることから、パートをしている学生には好評です。最後に課題型。メールで課題を提示し、レポートをメールで回収するやり方です。現在は1割ぐらいになっていると思います。こうした形態に落ち着くまでには、先生方も相当な努力をされています。フェイスブックでの研究会なども行われています。

## § 3 逆風下、学生募集は好調を維持

秋谷 アドミッション関連もお伺いしたいのですが。

学長 この春は約590名の新入生を迎え入れました。うち留学生は70名程度です。これにより全学年で定員を超えたことになります。受験者数の伸びは大変好調で、一般選抜志願者数は対前年指指数178.9に上りました。全国平均が86.8であることからすると、これは素晴らしい成果で



(左)同窓会会長 秋谷 大輔  
(中央)学校法人聖学院理事長・聖学院大学学長 清水 正之  
(右)同窓会副会長 島田 大輔



す。要因としては、まず教育方針への理解、共感をいただけたこと、学校経営が安定してきたこと。さらにはアドミッションセンターの職員のみなさんの努力のおかげですが、入試広報が功を奏したためと分析しています。特に、夏休みはほぼ連日、対面による学校説明会を実施したほか、オーディオガイド説明会、LINEでのきめ細かいコミュニケーション、オンラインメディアの活用等さまざまなツールを駆使していました。

島田 今夏の受験生の状況はいかがですか。

学長 2022年入学者確保も順調に推移していますが、留学生については残念ながら20名前後にまで落ち込むと思います。コロナ禍では致し方ありません。



秋谷 オープンキャンパス等で外部の方を招く場合、あるいは対面授業においては、どのような感染予防対策を行なっているのですか。

学長 学内においては、活動制限レベルの常時掲示、教職員の手洗い、アルコール消毒、マスク着用の徹底、検温機の設置など徹底した感染対策を行っています。パーティションを設置した学生食堂や、ソーシャルディスタンシングに配慮した座席配置をご覧いただくと、その徹底ぶりに驚かれると思います。また7月にはPCR検査を学生と教職員に実施しました。職域接種については、医学部のある大学と違って「打ち手」がいませんので、これを学内で行なうことはできません。幸いコンソーシアムさいたまという大学連合において、9月には教職員対象に職域接種を行います。感染状況は本日8月19日現在、教職員はゼロ、学生の累積数は37名にとどまっています。

## § 4 コロナ禍で見えてきたこと

秋谷 さまざまな活動に制約が生じていると思いますが、ボランティア活動やSDGs関連の取り組みはいかがでしょうか。

学長 本学では「良き市民となる」という言葉で理念を咀嚼してきましたが、SDGsはそれを具体的な目標として示してくれています。具体的なところをいくつか紹介しますと、昨年11月に開催された環境ワークショップでは持続可能な循環型社会を実現する試みとして「新聞紙でごみ箱を作る」講習をライブ配信しました。本年5月にはコロナ禍での偏見や差別を無くす「シトラスリボンプロジェクトリボン製作会」が開催されました。国際問題に対しての知見を深める取り組みも行っています。前後しますが本年4月には社会の諸問題と向き合い、学び考える「視野を広げるボランティア教養講座」が行われ、ミャンマーで今何が起きているか、参加した学生、教職員がさまざまな視点から考える機会を提供しました。こうした取り組みは、SDGsの17の目標のいずれかに該当しています。



島田 同窓会としては、今年もボランティア・まちづくり活動助成事業審査会に審査員として参加しました。今年度は6団体と参加団体数自体は少なかったものの、Webツールの活用やオンラインを用いた手法など創意工夫を凝らしたプレゼンテーションが目立ちました。審査においては申請6団体すべてへの助成が決定しました。申請団体の詳細は大学のホームページにアップされていますので是非ご覧ください。SDGsの17ゴールとの紐付けもなされています。

学長 ボランティア・まちづくり活動助成金審査会には、上尾市社会福祉協議会や地元、上尾市立上尾南中学校の生徒4名が審査員として参加されていますね。地域との共生という観点も重要です。私の方からは、活力ある個性豊かで持続可能な地域社会の形成に寄与することを目的に、比企管内8町村ならびに桶川市と包括連携協定を締結したことを報告しておきます。

秋谷 「オンライン」というキーワードは、色々なところで出しますね。確かにオンラインは便利ですが、個人的にはこの1年間、人間関係が希薄になったような気がします。

学長 オンラインによって成果を上げられた事例は多々あります。「コロナ禍でもつながることを諦めない！あそび場オンラインプロジェクト」もその一つです。昨年11月に実施した「第2回 笹久保さくら保育園×SEIGオンライン交流会」では、学生側の特別ゲストとして明治大学の4年生が1名参加しました。オンラインを活用して着実に交流の輪を広げています。また一度も大学に来られないでいた1年生に対し、先輩が「オンラインお茶会」という形式で不安解消の手助けを行なったというイベントもありました。一方で、オンラインだけで良いのか、このままでも良いのか、という点については、多くの人々が考え始めているのではないかと思います。

島田 清水先生ご自身の心境、ご事情はいかがですか。

学長 私自身はこの1年半、毎日が緊迫していました。迂闊なことはできないと。ですから原則、毎日大学には来ていました。ただ意思決定に携わる階層と、それに参加されない階層との間をどう埋めるか、常に腐心していました。個人としては、研究者だからモノは書きたい。しかしコロナ対策のため、研究者の頭じゃなくなっているわけです。事実、昨年は論文を一本も書けませんでした。人間と人間の関係とは本来何なのか、倫理学的な部分を書きたいという探究心は高まっているのですが、1年半にわたって自分の問題に集中できないというのは、個人的な人生にとっては大変辛い状況です。

秋谷 漠然とした質問で恐縮ですが、コロナは我々に何をもたらしたのでしょうか。倫理学をご専門の清水先生にご教示いただけますと幸いです。

学長 現代社会が持っている問題がここにきて一挙に湧き出してきたという点が一つ。差別とか、貧困とか、間違った情報に踊らされることとか。そうした中で、ある種の分断と対立が起きています。一方ボーダレス社会の中で起きたことであり、その解決もまたボーダレスに行っていく必要があるということ。同時に、本学も含め多くのキリスト教大学では、人をどう愛するかということについて、より具体的に考えるきっかけになっていると思います。キリスト教が元来持っている国家主義ではない、普遍的な言葉で語り合おうという世界。そのキリスト教自身が持っているグローバル性と大学教育が持つべきグローバル性はリンクしていますから、コロナ禍は我々にとって、殊更の命題が課せられていると思います。

もう一つ、オンラインのプラスの意味が明確になり、それにより人と人がどう関わるべきか、根本的な反省も芽生えたこと。連帯感も生まれてきています。こうしたデジタルツールを今後にどうやって活かしていくか、二つ目の命題を与えられているものと思います。

ただしその際、最後に束ねるのは、やはり人格の力だと考えています。生身の人格が消えることはありません。たとえば医療現場は、まさに今のこの瞬間に生身で行っています。それが人間の活動の根源であると思います。オンライン診療も行われていますが、治療の実態は生身の人間そのものです。教育もこれと同じです。だから、人間同士の活動に早く戻りたいですし、戻るに当たっては今回得たものを生かしていくべきです。デジタルツールを人間的に使っていくことを学んだのだからこれを生かしつつ、次代に備えていくことです。

しかし、まだ明らかに夜は続きます。そうであるからこそ、いつかは明けるという希望の中で、自分がどうありたいか、何になりたいか、どうなりたいかを見据え、学生にも、教職員のみなさんにも過ごしていただきたいと願っています。

## § 5 同窓生のみなさまへのお願い

島田 最後に同窓生にメッセージを頂けますか。

学長 本学も一期生を輩出してからすでに四半世紀を経過しました。社会的な活動において一定の地位を築かれた方や影響力を及ぼされる同窓もいらっしゃることでしょう。そのような方々には是非母校にも目を向けていただきたいと思います。当然、大学としてもますますより良い教育を目指してまいりますが、少子化が進展する中、これからも私学経営では寄付金が貴重な財源になってまいります。詳細のご案内につきましては、ASF News等をご一読いただき、ご支援・ご協力を切にお願いする次第です。

秋谷 母校への恩返しにはなりますが、昨年就活生の就職の斡旋を行ったところ、2名の学生を無事就職させることができました。母校への恩返しにはさまざまな形があると思います。お一人おひとりのやり方で結構ですので、是非母校を応援してまいりましょう。同窓会組織としても金銭支援以外に何ができるか、継続して検討してまいります。清水先生、本日は貴重なお話をありがとうございました。



来春、進学を控える  
ご家族・ご友人が  
いらっしゃる  
卒業生の皆さんへ

最新情報は各ホームページをご覧ください。



## 聖学院大学大学院

聖学院大学 学務部教務課(入試窓口)  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号  
TEL.048-780-1801  
FAX.048-780-1804



	出願期間	消印有効	試験日
秋期入試	11/8(月)～11/20(土)		11/27(土)
社会人特別入試	12/20(月)～1/7(金)		1/15(土)
春期入試	1/24(月)～2/5(土)		2/12(土)



Seigakuin University.

## 聖学院大学

聖学院大学アドミッションセンター  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号  
TEL.048-725-6191  
FAX.048-725-6891



※他の入試につきましては  
ホームページをご確認ください

### 総合型選抜

- 講義方式入試  
【2期】10/23(土)  
【3期】12/18(土)
- アンバサダー入試  
12/4(土)
- 英語特別入試  
【2期】10/23(土)  
【3期】12/18(土)

### 一般選抜

- |                |          |
|----------------|----------|
| A日程【3科目型方式】    | :1/28(金) |
| A日程【ベスト2科目型方式】 | :1/28(金) |
| B日程【3科目型方式】    | :2/17(木) |
| B日程【ベスト2科目型方式】 | :2/17(木) |
| C日程            | :3/3(木)  |
| D日程            | :3/17(木) |
- 大学入学共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)

### 学校推薦型選抜・その他入試

- 指定校制推薦入試[専願]  
11/20(土)
- 公募制推薦入試[専願]  
12/18(土)
- クリスチャン推薦入試  
【1期】11/20(土)／【2期】2/17(木)
- スポーツ推薦入試  
【1期】11/20(土)／【2期】12/18(土)

### 特別選抜

- 留学生入試・留学生編入学試験  
【第1回】10/16(土)  
【第2回】12/4(土)  
【第3回】2/17(木)  
【第4回】3/3(木)
- 社会人入試:12/18(土)
- 帰国生入試:12/18(土)
- 編入学試験:12/18(土)



Seigakuin Junior & Senior Highschool.

## 聖学院中学校高等学校

〒114-8502 東京都北区中里3丁目12番1号  
TEL.03-3917-1121/FAX.03-3917-1123



### 入試日程(中学)

一般 第1回	2/1(火)午前	ものづくり思考力	2/1(火)午後
一般 第2回	2/2(水)午後	M型思考力	2/2(水)午後

※他の入試につきましてはホームページをご確認ください

### 入試日程(高校)

推薦	1/22(土)
一般	2/11(金・祝)

## 聖学院大学大学院

聖学院大学 学務部教務課(入試窓口)  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号  
TEL.048-780-1801  
FAX.048-780-1804



## 女子聖学院中学校高等学校

〒114-8574 東京都北区中里3丁目12番2号  
TEL.03-3917-2277/FAX.03-3917-3680



Joshi Seigakuin

### 入試日程

第1回	2/1(火)午前	第4回	2/3(木)午前	英語表現力・ BaM表現力
第2回	2/1(火)午後	第5回	2/3(木)午後	
第3回	2/2(水)午後	第6回	2/4(金)午後	

2/3(木)午後



## 聖学院幼稚園

〒114-8574 東京都北区中里3丁目13番2号  
TEL.03-3917-2725/FAX.03-3917-1739



## 聖学院小学校

〒114-8574 東京都北区中里3丁目13番1号  
TEL.03-3917-1555/FAX.03-3917-1554



2022年度の出願は終了いたしました。



Seigakuin Midori Kindergarten.

## 聖学院みどり幼稚園

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820  
TEL.048-622-3864/FAX.048-625-1822



### 入園面接関連日程

願書配布	10/15(金)～10/27(水)	8:00～16:00 (土日を除く)
願書受付	10/28(木)	8:00～12:00
入園面接	10/29(金)	※時間は願書受付時にお知らせいたします。